

自信を育む 「やる気と行動」

今回は学校教育目標についてお伝えします。令和 6年度の学校教育目標は「やる気と行動」です。この目標



【令和6年度の学校教育目標】

は、芳野小中一貫校目標でもあり、芳野中学校と共有しています。

昨年度までの4年間の教育目標は「ふるさと『芳野』を誇りに思い、やる気と自信を持つ児童の育成」でした。本年度の目標も「ふるさと『芳野』を誇りに思」う情操を育てることに変わりはありません。また、「やる気と自信を持つ」子どもも目指します。であるにも関わらず、あえて「やる気と行動」と変更した理由は、学校教育目標の先にある熊本市教育振興基本計画の基本理念にあります。

「豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む」



【校則見直し検討委員会】



【地域貢献「きくばり活動」】

これが熊本市の教育振興基本計画にある基本理念です。これを読み解くと、前年度までの本校の学校教育目標につながっていることがわかると思います。過去4年間を振り返ると、「芳野が好き!」とっていたり「自分が好き!」と感じていたりする子どもたちは少なくありませんでした。

そこで、ますます「芳野が好き!」「自分が好き!」と思い、ふるさとのために自分なりに力を発揮できる人に育ててもらおうと考えました。そのために、理念後段の「自ら考え主体的に行動できる」に焦点を当てることにしました。湧き出た「やる気」を実際の行動につなげる子どもに育ててもらおうのです。

子どもたちは年齢を重ねるにつれて、解決しなければならない課題に対峙することが増えます。その内容は個人的な課題であったり地域社会の課題であったりします。それらの課題を自分事としてとらえ、支援を受けたり協働したりしながらも、自ら解決案を考えることが大切です。その案をもとに実際に行動することはさらに大切です。行動しないと、案は案のままで終わります。行動すれば、課題解決が現実味を帯びてきます。行動して達成感や成就感が湧けば、それが次のやる気を生み出します。その環の中で自信—自尊感情を育みます。それが将来、よりよい社会を創造する素地となります。



【自信を育む「やる気と行動」の環】

小学生なりの「やる気と行動」で自信を育んでいきます

以上のような理由から、本年度の学校教育目標を「やる気と行動」としたわけです。Society5.0の到来も念頭に置きつつ、小学生という発達段階の範囲の中でやる気を持ってそれを行動に移すことができるようにしていきます。

子どもたちには、小さな課題を「やる気」を持って見つめ、「行動」して解決し、小さな成功体験を重ねながら自尊感情を育ててほしいと思っています。



【自ら発案したコミセン清掃活動に取り組む2年生】

「芳野小『まごころ』運動」本年度も芳野小学校は「芳野小『まごころ』運動」を展開します。その内容等につきましては、例年同様六月にお伝えいたします。